

財政課 (880・6552)
まで聞いてね。

「まぢが煌めく産業元気都市」
に添って一緒に見ていこうよ。

「まぢが煌めく産業元気都市」
に添って一緒に見ていこうよ。

業や19年度末までに高知空港
までの開通を目指す高知南国
道路の周辺対策事業、岡豊地
区に整備する介護予防拠点整
備事業、第2中央住宅建設事
業、大湊小学校校舎増改築事
業、環境基本計画策定事業、
鳶ヶ池中学校の大规模改造に
向けた耐震診断事業などがあ
るけど、そのほかにもいろん
な事業が実施されることにな
っているから、南国市総合計
画「人が輝く夢ロマン人間都
市」「心が安らぐ健康文化都市」
「まぢが煌めく産業元気都市」
に添って一緒に見ていこうよ。



うん、いろいろ
市の取り組みをよく
知っておきたいからね。



そうよね。ここに
ある事業以外にもま
だまだあるけど、分からな
いことやもつとよく知りたいこ
となどがあれば、

平成14年度 市が取り組む主な事業

☆まぢが煌めく産業元気都市

子や孫の時代への基礎体力づくり	
園芸団地整備特別対策事業費補助	1,800万円
市営土地改良基盤整備促進事業	5,100万円
中山間地域直接支払制度事業	1,973万円
特定農山村総合支援事業	225万円
地域林業総合支援事業補助	1,300万円
交通・情報・通信のネットワークづくり	
地方バス路線維持等交通関係事業	2,994万円
交通安全施設設置事業	1,320万円
高知空港周辺整備事業	4億8,881万円
阿佐線建設促進事業	2,590万円
道路維持費・新設改良事業	1億6,879万円
J R 後免駅北口連絡橋建設事業費負担	5,000万円
緊道整 市道中島1号線改良事業	6,000万円
街路事業高知南国線整備事業	3億1,266万円
人にやさしい快適環境づくり	
高知南国道路周辺対策事業	2億7,600万円
合併処理浄化槽設置整備事業	8,539万円
一般廃棄物最終処分場運営・ 塵芥処理関係事業	6億9,055万円
し尿処理施設運営事業	1億8,795万円
環境基本計画策定事業	1,432万円
公園費	4,317万円
公営住宅建設事業	2億4,045万円
常備消防・非常備消防・消防施設費	5億9,621万円
消防庁舎建設事業	5億5,577万円
働く歓びに輝く産業づくり	
水田農業経営確立対策推進事業	1,325万円
農業水路維持・農道水路整備事業	3,516万円
市単独土地改良事業	7,420万円
畜産振興育成事業補助	427万円
中小商業活性化事業補助	500万円
南国市中小企業振興資金信用保証料助成	800万円
中小企業振興助成	1,450万円
企業立地促進奨励金	5,100万円
比江工業団地排水施設整備事業	4,100万円

☆人が輝く夢ロマン人間都市

市民が主役で参画するまちづくり	
広報紙発行費	950万円
コミュニティ助成・地域づくり事業	240万円
女性活動費・女性の社会参画促進事業	178万円
地球の真ん中・南国市の顔づくり	
電算運営管理事業	1億9,230万円
土佐日記門出のまつり・出港祭事業	35万円
オナガトリ保護増殖事業	225万円
キラリ輝く、まほろばびとづくり	
小・中学校管理費・教育振興費	5億6,476万円
小・中学校コンピュータ教育事業	5,552万円
大湊小学校校舎増改築事業	1億4,921万円
鳶ヶ池中学校校舎耐震診断事業	1,332万円
生涯学習まちづくり推進・ 高齢者教室開催事業	682万円
国際交流・姉妹都市交流事業	304万円
人権教育推進・人権啓発活動・ 人権対策事業	1,047万円

☆心が安らぐ健康文化都市

心身が健康で希望に満ちたまちづくり	
保健事業・精神保健事業	4,856万円
保健衛生予防費	2,865万円
母子・父子医療費	2,401万円
幼児医療費・乳幼児医療費助成事業	6,396万円
身体障害児・者医療費	1億6,139万円
生きがいと安らぎの福祉のまちづくり	
身体障害者委託・給付事業	2億1,242万円
知的障害者保護措置事業	2億 371万円
老人保護措置・在宅老人福祉委託・ 福祉給付事業	6,790万円
家族介護支援・地域支え合い事業	738万円
介護予防拠点整備事業	1億7,222万円
児童扶養手当・児童手当費	2億2,752万円
芸術文化の創造とスポーツのまちづくり	
芸術文化振興・美術展覧会開催事業	318万円
図書館費	4,137万円
吾岡山多目的広場整備事業	592万円
国体推進・国体競技施設整備事業	2億9,148万円

どう考える
市町村合併②

今、なぜ市町村合併？

将来のまちづくり みんなで検討しよう

少子高齢化など

人口問題への対応

今後、各地での高齢化が一層進展し、それに伴う医療や介護・保健・福祉サービスなどがますます大きな課題となつてきます。少子高齢化やそれに伴う人口の減少は、地域の担い手の減少につながり、とりわけ高齢化の著しい市町村にとっては、財政的な負担や高齢者を支えるマンパワーの確保が心配されています。

地方分権

地方分権は、住民に身近な行政の権限をできる限り地方自治体に移し、地域の創意工夫による行政運営を推進できるようにするための取り組みです。

今後、市町村は自らの判断と責任のもと、政策を立案し、安定した行政サービスを行っていかねばなりません。そのために、より一層の効率的な行政運営が求められています。

財政問題

全国ほとんどの市町村は、国・県からの財政支援を受けて行政運営を行っています。今は、高度経済の成長は去り、国も県も大きな借金を抱えています。今後は、国の政策転換で市町村の収入は、大幅に減少していくと考えなければなりません。本県のように自主財源の乏しい市町村では、財源の多くを地方交付税に依存しています。その地

方交付税についても見直しが始まっており、すでに本市では、13年度で2億5千5百万円が減額され、今後さらに削減が見込まれています。こうした環境の変化に適切に対応するため、市町村は一層の効率化と体制の整備が必要となります。



平成14年度 市役所 人事異動

～男女共同参画社会の実現のため女性職員の活用を図る～
1名の管理職と1名の係長を女子職員登用

異動総数 111名

一般	64名
技師	9名
保育士	22名
調理師	9名
(保育・学校・幼稚園)	
消防士	4名
保健師	3名

機構の改善、充実

教育委員会同和教育課と総務課人権啓発係を統合して、市長部局に**じんけんセンター**を新たに設置しました。南国市・香美郡の市町村合併に関連し、資料づくりや準備会への対応をおこなうため**対策監(市町村合併担当)**を配置しました。

後免町再開発事業の中止に伴い**都市計画課再開発係を廃止し、新しくまちづくり係を設置して**、新たなまちづくりの展望に取り組みます。

土地開発公社への職員派遣を廃止し、企画課業務との兼職としました。

社会福祉協議会への職員派遣を廃止しました。

企画課企画調整係と情報管理係を統合しました。税務課収納係と税務管理係を統合し、収納管理係としました。

農業集落排水事業を担当していた農林課農林土木第二係を、関連性の強い下水道課に統合しました。

精神保健福祉業務の県から市への移管、介護保険導入などによる保健業務増に対応するため、**保健福祉センターに保健師1名を増員**し業務の充実を図りました。